



2025年3月14日

各位

会社名 株式会社OSGコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 山田 啓輔
(コード：6757 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理部長 安岡 正彦
(TEL. 06-6357-0101)

特別損失（関係会社株式及び関係会社出資金評価損）の計上
並びに業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は2025年1月期決算におきまして、特別損失（関係会社株式及び関係会社出資金評価損）を計上することといたしました。また、2024年3月15日に公表しております2025年1月期（2024年2月1日～2025年1月31日）の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 個別決算における特別損失（関係会社株式及び関係会社出資金評価損）の計上について

当社の連結子会社である株式会社銀座仁志川の株式並びに欧愛水（上海）環保科技有限公司の出資金について、簿価に比べて実質価額が大きく低下したことから、関係会社株式評価損175,442千円及び関係会社出資金評価損88,855千円を特別損失として計上することといたしました。なお、当該関係会社株式評価損及び関係会社出資金評価損は、連結決算においては内部消去されるため、連結決算への影響はございません。

2. 2025年1月期 連結業績予想値と実績値との差異（2024年2月1日～2025年1月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 8,600	百万円 600	百万円 600	百万円 350	円 銭 67.37
実績値 (B)	7,929	133	125	33	6.51
増減額 (B-A)	△671	△467	△475	△317	—
増減率 (%)	△7.8	△77.7	△79.1	△90.3	—
(ご参考) 前期実績 (2024年1月期)	7,896	311	351	49	9.55

3. 業績予想値と実績値との差異の理由

当連結会計年度における業績予想値と実績値との差異理由は以下のとおりであります。

当社グループにおける4セグメントのうち、水関連機器事業、メンテナンス事業、HOD（水宅配）事業は概ね計画通り展開いたしました。一方で、当社が探索領域と位置付けているFOOD事業の「銀座に志かわ」におきましては、国内での店舗統廃合のコスト、海外での市場開拓の投資コストが発生していることにより前期比で減収減益となりました。

ブランドを活かした新商品、新業態の準備や海外への積極的出店を計画しておりますが、当連結会計年度におきましては、本部が支援している加盟店不採算店舗の統廃合コスト及び市場開拓に伴う投資コスト等によって当初の予想を下回り、業績に影響を与えました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、収益性の低下などによって営業店舗の資産にかかる固定資産の減損損失を計上したことによって、予想を下回る実績となりました。

4. 配当の状況

上記に記載の営業店舗の資産にかかる固定資産の減損損失につきましては、臨時かつ非現金支出費用であります。本件を踏まえ、今後の事業展開及び成長性などを総合的に勘案した結果、当初予想通り1株当たり40円の配当を予定しております。

以 上